

豊岡市における「保育士確保推進事業」の取組



取組のポイント

●保育の質の向上と保育士確保を目的とした業務改善と働き方改革

豊岡市の取り組みの背景にあったもの

- 人口約8万人の小さな地方都市
- 無償化の影響で保育園・こども園ニーズが高まり待機児童問題が深刻化
- 県内・近隣都市では保育者への宿舍借上制度を実施（豊岡市は未実施）していたことにより、市内の保育士が流出する危機にあり、加えて近隣都市からの採用が難しい状況
- 市内でハローワークに求職していた保育士有資格者（潜在保育士）のうち、30/31人が他業種への就職を希望していた

保育士が市内からも市外からも採用できない

事業の内容

保育の仕事に絶望した潜在保育士に働きかけるには、「働きやすさ」と「働きがい（保育の魅力）」の両方を上げていく必要がある

モデル園事業（社会保険労務士・保育の専門家の先生によるコンサルティング）

- 補助者の活用（保育士が本来の仕事に集中できるように）
- ICT化による業務効率化
- 多様な働き方の導入
- 保育の専門家の先生による実践的な研修

実際に取り組んだこと

- 市内の全業種を対象とした主婦の掘り起こしイベント、「おしごと相談フェア」にモデル園が参加。
→保育士対象の就職相談会ではほとんど人が集まらないのに対して、主婦たちにとって親近感があり、一番人気で多数の応募者が
→主婦の働きたい時間帯は保育園の忙しい時間帯でもあった。できるだけ具体的に仕事の内容を伝えることでイメージしやすくなった。

豊岡で 週3日 7千勤務 895円 子育て経験が活きる！園児と遊んだり保育士の業務をサポートする仕事です

例えばこんな働き方もOK！
月水金 7時～15時 895円
月水金 11時～15時 895円
月水金 11時～15時 895円
月水金 11時～15時 895円
月水金 11時～15時 895円
月水金 11時～15時 895円

小児科からの働きかたもOK！
小児科からの働きかたもOK！
小児科からの働きかたもOK！
小児科からの働きかたもOK！
小児科からの働きかたもOK！
小児科からの働きかたもOK！



- ICT化による効率化
PCに抵抗があったため、優先順位をつけながら進めた。
①配布物をなくす（おたよりを印刷して配布→PDFで配信）
印刷時間 60時間→24分/月 印刷費用 16,000円→100円/月
②保護者とのコミュニケーションを紙・電話→ICT
素早い情報把握、丁寧な共有が可能に。
③記録類のICT化
データ管理によって時間短縮され、記録の検証がしやすくなった。

- 専門家の先生による研修
人手不足で業務過多だったときは研修をする時間が取れず夜間になってしまったり、せっかく研修をしてもそれを園内で共有したり実践に移すことができない状態であったのに対し、業務改善と同時進行で進めたことで、講義→実践→具体的な疑問を先生に質問→皆でディスカッション、という生きた講義に発展した。保育が良くなっていく面白さに保育者が気づき、ひとりひとりが保育を楽しむ様子が見られるように。

取組の成果

- ① 常勤の有給休暇の取得日数（年間）が約4倍に増加した
- ② 担任全員で打ち合わせをする時間が確保できるようになった
- ③ ICT化により持ち帰り仕事がなくなり、園内で時間内に仕事を終わらせることが徹底された
- ④ キャリアアップへの不安がなくなり、チャレンジする職員が増えた
- ⑤ 保育の質が大きく向上した。保育を楽しむ職員が増えた

- 多様な働き方の導入
それぞれの雇用形態や役職に対して、どんな仕事の内容があって、どの程度の責任が伴うのかがわかりづらかったため、「常勤はとにかく大変そう」「責任を負いたくない」と、ベテラン保育士が非常勤になってしまい、スキルや力を出し惜しりする状況にあった。職務を明確に示すことと、常勤と非常勤だけでなく「限定職員」「補助者」を加えることで安心してキャリアアップにチャレンジすることができるようになった。ベテラン職員の力がより一層発揮され、全体の質が向上した。